

ラグビーワールドカップ2019の準備状況について

開催都市及びチームキャンプ地選定スケジュール

1. 開催都市選定

2013年10月31日 ラグビーワールドカップ2019組織委員会による開催都市ガイドライン
の発表

2014年10月14日(火)～31日(金)

試合開催を希望する自治体より申請書の提出

2014年12月～2015年1月

ラグビーワールドカップリミテッド（RWCL※）並びに組織委員会による
候補会場及び開催都市の共同視察

※RWCL：ラグビーワールドカップに関わるすべての権利を保有する
法人。IRB（国際ラグビーボード）の管理監督下にある。

2015年3月 RWCLによる開催都市決定及び正式発表

2. チームキャンプ地選定ほか（予定）

2015年度秋 ラグビーワールドカップ2015開催（イングランド）

2016年度 組織委員会によるチームキャンプ地選定プロセス準備及び発表

2017年度後半以降 組織委員会によるチームキャンプ地候補決定

各国出場チームが候補地を視察・検討 ⇒ キャンプ地決定

2019年9～10月 ラグビーワールドカップ2019開催（日本）

《参考》ラグビーワールドカップ2019の開催都市に立候補等を表明している自治体について

所在地	施設名称	所有者	収容人数	立候補表明
岩手県	釜石市運動広場(仮称) *新設予定	釜石市	15,000	2014年 7月 4日 釜石市野田市長が立候補を表明
埼玉県	熊谷スポーツ文化公園 ラグビー場	埼玉県	24,000	2014年 6月10日 埼玉県上田知事が招致を表明
静岡県	静岡県小笠山総合運動公園 エコパスタジアム	静岡県	50,889	2014年 1月14日 静岡県川勝知事が招致を表明
愛知県	豊田スタジアム	豊田市	45,000	2014年 5月14日 豊田市太田市長が立候補を表明
京都府	京都市西京極総合運動公園 陸上競技場兼球技場	京都市	20,162	2014年 3月 7日 京都市門川市長が立候補を表明
大阪府	近鉄花園ラグビー場 (東大阪市花園ラグビー場: 予定)	近鉄レジャーサービス(株) →15年4月に 東大阪市に譲渡	30,000	2013年 7月14日 東大阪市(市議会を含む)として、 誘致を表明
兵庫県	ノエビアスタジアム神戸 (御崎公園球技場)	神戸市	30,132	2014年 6月23日 神戸市久元市長が立候補を表明

※その他、新国立競技場(2019年3月完成予定)では、メインスタジアムとして開幕戦及び決勝戦を行うことが予定されている。2014年9月17日、東京都舛添知事が立候補検討を表明。